

かけはし

第60号 平成15年7月16日発行
千代田区教育委員会

“農作業を通して心の交流を” (春の婦恋自然体験交流教室 昌平小学校)



初めて扱うくわ・干俣小学校のお友達と



耕し、肥料をまいた畝にマルチをかける



よい実をつけるための花つみ体験・リンゴ園にて

主な記事

- 中等教育学校開設に向けて
- ウエストミンスター生徒が来区
- 2年目を迎えた新学習指導要領
一学校はどう変わったかー
- 学校活性化支援事業
- 1学期のできごと

広い畑にトウモロコシ・ジャガイモ・サツマイモを植えました。
肥料を入れ、くわで畝^{うね}を作り…本格的な農作業を初めて体験しました。
秋の収穫に行くのが楽しみです。

今年も、6月8日、英国ロンドンのウエストミンスター市立学校の女子生徒6名、男子生徒6名、引率教師3名が来日しました。千代田区の区立中学生の家にホームステイし、学校に通い、鎌倉見学なども行い交流を深めました。

短い期間でしたが、日本の生活習慣に触れ、充実した日々を送り、おそらく生涯に残る思い出を胸に、みなさん無事に6月17日帰国しました。

今年で9年目を迎えたウエストミンスター市と千代田区の交流は、双方の生徒たちにとって、大変貴重でかけがえのない交流となっています。

ホストファミリーの皆様、大変ありがとうございました。



一緒に学びました。



将棋をひきました。

ウエストミンスター市立学校生徒の感想

- ・学校生活は楽しかった。違いに気づきました。日本人生徒の学校生活はストレスがいっぱいあるという感じがしました。
- ・ホストファミリーはいい家族で、いつも助けてくれた。
- ・学校の他にももっといろいろな場所をたくさん訪問したかった。
- ・楽しい時間が過ごせました。
- ・日本では靴を履き替える必要が多かったので苦労しました。
- ・授業は分からなかったけど、学校に通って楽しかった。

ホストファミリーからの感想

- ・嵐のような10日間が過ぎ、今は、無事に帰ることができた安堵感と、寂しさが入り交じった複雑な心境です。
- ・「日本で一番気に入った場所はこの家です」という言葉を聞き、感動しました。
- ・今回の受け入れによって、渡英では感じることはできなかったことや、日本の文化や国民性など、日本という国のすばらしさを親子共に実感することができました。
- ・家族一同、大変貴重な体験をさせていただいたことに感謝します。特に子どもにとっては、「行くこと」と「迎えること」で更に大きな何かが芽生えたように思います。
- ・困ったことは、やはり言葉です。しかし、気持ちは通じます。



鎌倉での記念撮影

ウエストミンスター市立学校生徒との交流

区立初の中等教育学校開設に向け 第1回 学校評議会が開催されました

学校評議会委員紹介

青木 繁

日本放送協会番組制作局
チーフ・プロデューサー

市川 正

元東京都教育長

栗岩英雄

前千代田区教育委員長

小坂紀一郎

区立九段中学校同窓会会長

高野光正

都立九段高等学校同窓会会長

ピーター・バラカン

ブロードキャスター

三沢直子

明治大学教授

宮台真司

東京都立大学助教授

森谷一彦

帝国ホテル人事部長

山崎恵美

公文教育研究会
グループ広報室・課長

◎会長 ○副会長

(五十音順・敬称略)

任期

平成15年6月10日～平成17年3月31日

第2回 中等教育学校 学校評議会

7月18日(金) 午前10時～区役所8階第四委員会室

千代田区では、平成18年4月の開設に向け「区立中等教育学校」の開設準備を進めています。この度、その基本的な方向性を検討し、自主的な学校運営を図るための機関として「学校評議会」を立ち上げ、6月10日(火)に第1回の会議を開催しました。



学校評議会の役割と特徴

役割

中等教育学校の基本的な方向性を検討し、自主的な学校運営を図る。

特徴

1. 千代田区の特徴あふれる学校運営を目指す。
☆千代田区の特徴を十分に反映させるため、学校教育関係者に限らず、幅広い分野から委員を選定しました。
2. 斬新かつ柔軟な発想に基づく学校運営を目指す。
☆従来の公立学校の枠組みにとらわれない学校運営を目指します。

区立中等教育学校「子ども評議会」【今秋予定】参加者募集！

—区立中高一貫教育校をみんなの理想の学校にしていこう—

参加資格 区内在住、在学の小学校4～6年生、中学校1～2年生

締め切り 7月31日(木) 【問い合わせ先】教育計画課 TEL 5211-4281

学校はどこう変わったか

2年目を迎えた 新学習指導要領

学校完全週5日制がスタートして2年目を迎えました。区内の各学校では、ゆとりある生活の中で、子どもたちの「生きる力」を育てようという様々な試みを進めています。「生きる力」とは、単なる知識の修得だけでなく、社会で起こる問題や変化に対して、自ら判断し、行動できる力です。

今回は、新しい学習指導要領のもと各学校で工夫している様子を紹介します。

千代田小学校

千代田小学校では「総合的な学習の時間」や特別活動の時間等の中で地域や近隣に住んでいる方々との連携を積極的に図りながら学校づくりをすすめています。

総合的な学習の時間

学区で行われる「神田祭」や地域内の「外語学院」との交流等を題材に取り上げ、地域の教材をどのように取り入れていくか、校内での研究を深めています。また年に二回、全校一斉に行われる「地域清掃の時間」の中で、環境美化やボランティアについて考えていこうとする児童も多く見られます。

三味線学習

地域に住む「ひと」との連携も積極的に教育活動にとり入れています。五、六年生全員が地域に住む方をゲストティーチャーとしてお招きし、学んでいく本校の特色ある教育の一つです。児童は二年間をかけ、日本の伝統文化である三味線を学んでいきます。

ふれあい給食

一、二年生と近隣の方々とのふれあいの時間です。給食を一緒に食べるだけでなく自己紹介やゲーム・歌などの交流をおし、学校の近隣に住む人々とのかかわりを深めています。

地域とのかかわりを深める

地域の教育力の低下や人と人との結びつきの希薄化が叫ばれている昨今ですが、千代田小学校ではこれからもより既存の学習と地域を結びつけ、人とのかかわりを深めていく学校づくりを行っています。

ふれあい給食



神田祭の風景

九段小学校

学校完全週5日制に伴い、本校では子どもたちの学びの場として、また、子ども同士のふれあい、かかわり合いの場として、学校施設を積極的に提供するために以下の取り組みをしています。実施にあたっては、保護者や地域の方の理解と協力は不可欠です。

平日の開門と閉門までの時間の延長

子どもたちの遊び時間を十分確保するために、開門時刻を午前七時五十分閉門時刻を午後五時にしています。午後四時からの時間帯は、保護者の責任において過ごすことを理解いただいています。また、教師と子どもとのふれあいの場として月1回「子どもと共に過ごす日」を設けています。

土曜日の学習相談室、ミニバスケット教室の実施

千代田区ふれあいスクールの一環として、三、六年生を対象に学習相談室を年間十五回、ミニバスケット教室を年間二十三回実施しています。学習相談室の指導は、主に教員志望の大学生、ミニバスケットは保護者及び地域の方にお願ひしています。

夏休みの学校施設の開放

夏季休業中に十七回の水泳指導を午前中に行いますが、その日の午後は、

子どもたちの必要に応じて図書室、コンピュータ室、校庭を開放。教員が指導にあたっています。

「九段ばやし」の取り組み

地域の伝統文化を継承するために、懸案であった九段ばやしに取り組みしています。今年度は三年生を対象に、四、六年生のクラブ活動の時間帯に地域の方の指導で年間十五回練習します。希望者の数が心配されましたが、三年生の半数近くの二十五名の参加があり、地域の指導者の方も喜んでくださり、指導にも熱が入っています。

九段ばやしの練習



フットパットの日(子どもと共に) 週に一回



基礎・基本の充実による「確かな学力」

今川中学校

新しい教育課程がスタートして2年目を迎え、基礎基本をしっかりと身につけた心豊かな生徒の育成を目指して、日々取り組んでいます。

一学級二グループの達成度別少人数授業

全学年の数学と英語の授業で生徒の達成度に応じて、基礎基本の定着と共に応用・発展的な内容も指導しています。



裁量の時間を有効活用

二十八コマの授業に加え、二コマの裁量の時間を、様々な活動と授業の補充深化に活用しています。

多様・少人数での選択授業の実施



1年 30時間
2年 70時間
3年 140時間
の選択授業を全教科で実施しています。

活動をとおして育む

「豊かな心」

全校縦割り班による活動

運動会・総合的な学習・道徳を全校生徒を縦割りにしたグループで取り組み、上級生と下級生との関わりを深めています。



地域の方やNPOの方を講師にした活動や交流

職場体験、講演などで、地域の方やNPOの方にお世話になっていきます。また、自ら行動する早朝地域清掃や街頭募金の実施などにも取り組んでいます。来年の正月には、地域の方を招待し、地元町会の方の協力も得て、新年餅つき会を行います。

校庭の自然の恵みを活用



選択家庭科の時間に、校庭に実ったアンズを収穫し、ジャムを作りました。また、運動会で優勝したチームに贈る冠も、校庭の月桂樹で作りました。

九段中学校

中学校の選択授業

「伝え合う力」を育てる国語の授業
2年生の選択国語の授業では「ブックトーク」に取り組んでいます。ブックトークとは、ある一つのテーマにそって関連した数冊の本を紹介するといった方法で、自分の読書体験や本を読む楽しさをお互いに伝え合うことを目的にしています。

普段興味を持つことのないジャンルの本や手に取ることのなかった本についての思いがけない発見があったりと読書の幅を広げるのに役立っています。千代田図書館の司書の方々にお手本を見せていただきながら勉強しています。

音楽の授業

我が国の伝統的な音楽文化の学習

授業へ和楽器が導入されることになり、本校二年生では、琴の演奏に取り組みます。四人で一面が使える、一時間もすれば全員が「さくらさく



ら」を弾けるようになるので、生徒たちは楽しんで取り組んでいます。音楽活動の楽しさ、自国文化のよさに気づき、生涯にわたって音楽に親しむ生徒の育成を目指しています。

調べ学習

自ら学び考える生徒を育てるために「総合的な学習の時間」では、自ら課題を設定し、体験を通して解決を目指す「課題解決型学習」を重視しています。

各学年とも設定したテーマに沿って、インターネットを活用し、それぞれの教室で調べ学習をしたり、発表用の資料づくりを行ったりと、意欲的に取り組んでいます。



1学期のできごと



自慢の大きな土の山!!
泥遊び大好き!! 九段幼稚園



願いごとがかないますように
いずみこども園



上智大学の留学生と楽しく交流しました。 番町小



区民一斉清掃の日に児童も参加しました。千代田小



「八島湿原にて」1年生軽井沢移動教室 麴町中



曇り空をふきとばし、燃えた運動会 練成中

夏休みを元気に過ごしましょう

楽しい夏休みがやってきましたが、「毎日暑くて夏バテになりそう」なんてことはありませんか？

規則正しい生活で「夏バテ」しない元氣な夏休みを過ごしましょう。

① 睡眠を十分にとる。
睡眠不足は疲れがとれず、体調も崩しやすくなります。早寝早起きのきちんとしたリズムで生活しましょう。

② 食事をきちんととる。
冷たいものばかりでなく、栄養バランスを考えてきちんと食事をとりましょう。

③ 適度な運動をする。
食欲も出て、夜もぐっすり眠れます。運動する時は、熱中症に注意し、水分補給を忘れずにしましょう。

④ 冷房の温度調節をこまめにする。
室内温度の適温は、外気温との差が5度以内といわれています。冷房のさげすぎには注意しましょう。

「学校活性化支援事業」の対象事業が決まりました。

—保護者や地域の要望に応えた「特色ある学校づくり」を目指します—

教育委員会では平成15年度から、子どもや保護者・地域の要望に応じて特色ある学校づくりを進めるため、幼稚園や小・中学校が独自に取り組む教育活動に予算を重点的に配分する事業「学校活性化支援事業」を開始しました。

対象事業の決定にあたっては、校長や園長が提案内容についてプレゼンテーションを行い、保護者や地域住民などで構成する外部審査委員が一つ一つ評価し、その結果をもとに実施事業について下記のとおり決定しました。今後、各学校・園において「特色ある学校づくり」が進められる予定です。

順位	学校名	事業名	概要
1	九段小学校	朝から夕方まで子どもが過ごせる学校づくり	午後4時以降に開放指導員を配置し、子どもたちの遊びを豊かにする。
2	和泉小学校	ビッグバンド活性化事業	ビッグバンド部の活動を広く地域と連携したものにすることにより、本校教育目標「人にやさしく、自分につよく、明るく元気な 和泉の子」の実現を図る。
3	麴町小学校	エネルギー環境教育	太陽光発電や反射鏡を活用した温度・照度観測、あるいは風力・人力による発電を体験的に学び、環境教育を計画的に推進する。
3	一橋中学校	カスタム・デザイン・スクール構想	3年間の学習履歴や「思い出のアルバム」のビデオ映像や写真を蓄積し、卒業時に生徒全員に手渡す。また、「1分間ビデオ映画」制作で総合的な知力を身につけさせる。
5	九段中学校	イングリッシュシャワー	帰国生徒の英語力の保持と英語に興味を持つ生徒に、英語によるコミュニケーション能力を高めるため、ネイティブスピーカーによる英語のみで行う会話講座を行なう。
6	昌平幼稚園	ピオトープをつくろう！生き物と友達に！	園庭の自然環境を生かして、虫や鳥を呼び込むためのピオトープを作り、幼児が体験を通して様々なことを感じ、学ぶことができるようにする。
6	練成中学校	和太鼓部の充実と手ぬぐい染め	和太鼓活動を充実し、外部の催しに参加して文化・伝統の継承に寄与する。また、周辺の由緒ある建物等を生徒が手ぬぐい染めに活用し、本校のシンボルの一つとする。
8	昌平小学校	6年総合的学習「昌平祝太鼓」	神田明神将門太鼓の指導者など地域の教育力を生かした活動の推進を図る。練習成果を学校行事や区及び地域の祭典で披露し、地域に根ざした学校づくりを進める。
9	富士見小学校	学ぼう！伝えよう！日本の文化	雅楽の演奏を通して、日本の優れた伝統文化を体験的に学び、そのよさを味わうとともに、日本人としてのアイデンティティの形成を図る。
9	麴町中学校	IT活用を図る学校活性化	ブロードバンドPCを活用し、情報収集や発表の仕方などの学び方やものの考え方を身につけさせ、問題解決に向けた、創造力を育成する。
11	番町小学校	豊かな心の育成と個性の伸長	学校の周りに植栽を施し、花いっぱい運動を実施すると共に、地域の清掃活動を中心とした環境美化活動を実施する。
12	九段小学校	九段ばやしの会	地域の伝統文化、九段ばやしのすばらしさを体感し、伝統を継承し育てていこうとする心情を培う。
13	富士見幼稚園	幼児の心と体の健やかな育成を目指して	園庭の充実の他、ピオトープの配置など、身近な自然や生き物に親しみ、触れ合う事ができるようにする。
13	番町小学校	特色ある活動と学校紹介	番町ジュニアバンド及び番町和太鼓クラブの活動を充実させ、地域と一体感のある学校づくりを目指す。
15	お茶の水小学校	みずみずしい感性を育てる読書指導の充実	一層読書に親しむことにより、心豊かでみずみずしい感性が育つようにする。「朝読書タイム」など読書の一層の啓発や読書ジャンルの拡大等を行う。
15	昌平小学校	金管バンドクラブ	金管楽器の習熟を通して、音楽の楽しさを味わわせるとともに、様々な行事で演奏を披露し、充実感や達成感を味わわせ、意欲的に活動する子どもを育てる。
15	和泉小学校	和泉ふれあい広場活性化事業	【和泉ふれあい広場】において、地域・家庭の協力のもと、児童に地域の伝統文化・芸能等を直接体験させることを通して、神田を愛する児童を育てる。
18	九段小学校	卒業論文の作成と製本	小学校生活の集大成として、児童一人一人が各自の課題に基づいた論文を作成し、合本・製本し、学校生活の記録として残すとともに、達成感を得、自己実現に結びつける。
19	千代田小学校	特色ある教育活動の推進	三味線や神田囃子の学習を通して、神田地区の文化・伝統を継承する地域に根ざした教育活動を展開し、地域に生きる子を育てる。
19	今川中学校	地域の伝統文化を知る	神田地域を中心とした伝統文化について、体験に基づく調査・研究・創作活動を行い、歴史や文化・伝統への理解を深め、日本人としての自覚を育む。
21	番町幼稚園	地域との連携	日本文化にかかる内容や栽培活動を保育に取り入れ、豊かな感動のある心を育てる。幼児の関心と呼ぶ経験の機会を設け、情操教育の一環に役立てる。
22	九段小学校	近隣学校との交流・連携の推進	地元の大学の学生をゲストティーチャーに招いた授業支援や、大学施設と連携し、教育活動の充実を図る。また、九段中学校と交流し進路指導の充実を図る。
23	お茶の水幼稚園	幼児期から日本人としてのアイデンティティを育む行事の実施	四季の変化や子どもの成長の節目を大切に伝統的行事を、家庭・地域と連携を図りながら、入園から修了まで3年間の幼児の成長発達に即し実施する。

随想

きょういく

千代田区民として三人の子育てを十数年の間、幼稚園、小学校、中学校のPTA活動に携わっておりました。その間、子どもの成長とともに私自身の世界も広がり、私にとって「第二の青春」のような日々でした。

その後は、私が趣味としている茶道を通して中学校、幼稚園、児童・家庭支援センターで子どもたちと一服のお茶を楽しんでおります。

物の豊かな社会に生まれ育った子どもたちにとっては、精神・こころを大切にすることは新鮮に感じられるのでしょうか。お菓子とお抹茶をおいしいと素直に喜び、新しいことを知ろうとする子どもたちの好奇心は旺盛です。何にでも挑戦しようとする気持ちや、体験したことをすぐに吸収してしまう柔軟な心を持った子どもたちに毎回大きな刺激とエネルギーをもらっております。

お抹茶を点て、お菓子とお茶を差し上げるお茶席では、「もう一服いかがですか?」「十分頂戴いたしました。」「お先に頂戴いたします。」「どうぞ。」「お点前頂戴いたします。」「どうぞ。」「と挨拶を交わします。その中でおもてなしの心を学び、客同士、客とお茶を点

てる人(亭主)との相手を思いやる心を知る。日本人が長い歴史の中で培ってきた心の文化に少しでもふれ、一人でも多くの子どもが心豊かに成長することを願っております。

最近、マナーの悪さが話題になり、嘆かわしいことも多々あるようですが、



大人の責任

千代田区教育委員

影山純子

教えられるずにいる行儀の悪さもあるように思います。折りにふれ、大人たちも子どもたちに伝える必要があると思えます。次の世代を担う子どもたちを育てるのは、私たち大人の責任だと思えます。親の責任はもちろんのこと、教師を始め子どもと係わるすべての大

人たちが、そして地域社会の支えがあった子どもたちは健やかに育つものと思えます。

少子化の要因に、子育て環境が十分に整っていないことを指摘していた新聞記事がありました。環境も大事な要因の一つですが、環境がすべて整っていれば出生率は上がるのでしょうか? 子育てはうまく行くのでしょうか? 環境は完備されていなくても大人の知恵と工夫で対処できることはたくさんあるように思います。

人とのふれあいの中で学び成長することが人間のすばらしさだと思います。だからこそ子育ての中で係わる大人「親・教師・すべての大人たち」がそれぞれの立場で子どもに与える影響の大きさを自覚する必要があると思えます。

次の世代を担う子どもたち一人ひとりの笑顔が輝くような平和で安心して暮らせる社会を築くこと。そしてそれを子どもたちにつなげていくことが私たち大人の責任だと思えます。

かげやま すみこ
千代田区教育委員

きょういく

随想

編集後記

6月、今年もロンドンのウエストミンスター市の中学生が来日しました。短い期間ではありましたが、来日した生徒たちは、生き生きとした表情で学校やホストファミリーと交流しました。また、歓迎会の場で堂々と挨拶している様子を頼もしく思いました。

10月、今度は千代田区の生徒がウエストミンスター市を訪ねます。千代田区の生徒も、暖かい歓迎を受けると思っています。この交流を通じて、生徒どうしや学校・ホストファミリーの間で国際理解がさらに深まるでしょう。

さて、今号では2年目を迎えた新学習指導要領で学校がどう変わったかという特集と、学校活性化についての記事を掲載しました。各学校が、「うちの学校おもしろいよ」と感じられる学校作りを行い、子どもたちに、学力だけではない、「生きる力」の向上に努めています。こうした教育を通じて、子どもたちが将来への大きな夢を持って、大きくはばたいて欲しいと思います。

「かけはし」についてのご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。

教育広報「かけはし」第六十号

平成十五年七月十六日発行

編集発行/千代田区教育委員会

102-8688 千代田区九段南1-6-11

☎(ダイヤルイン)03(5211)4273